

## 第5学年「総合」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 一人一台端末を活用した発表に意欲的に取り組んでいる。
  - 探究ノートを活用し、思考ツールを適切に使えるようになってきた。
- 課題**
- ▼ インターネットや本などを使った調べ学習では、様々な資料から必要な情報を取捨選択し、自分なりに理解してまとめる力を更につけたい。
  - ▼ 探究のサイクルを自身で回せるようにしていきたい。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 実社会や実生活の中から自ら問いを見出し、課題設定する力。
- ◇ 課題解決の見通しをもって情報を収集し、整理・分析してまとめ、表現する力。
- ◇ 協働的な学習の中で、互いのよさを生かしながら協力して解決しようとする力。

### 具体的な改善策

#### **主体的に学習に取り組む態度のための工夫**

- 課題に対して自分の生活の中で実践できる場面を設定する。
- 探究的な学びのサイクルになるよう、次への課題をもてる仕掛けを工夫する。

#### **言語活動の工夫**

- 調べたことを効果的にまとめたり発表したりすることができるように、プレゼンテーションやポスターセッションなどの基本的な技能の指導をする。

#### **ICT活用の工夫**

- 伝わりやすいようにスライドの構成、提示順序等を工夫しプレゼンテーションができるようにする。

#### **課題解決力育成の工夫**

- 課題設定の際には他教科との関連を図りながら、探究的に学びたいことを適切に設定できるようにする。

### 達成目標

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。